

たくさんの人に 図書館を知ってほしい

池本紀子 さん

いけもと・のりこ 61歳
気高町下坂本



旧気高町で図書館行政の委員を10年間務め、まちに図書館がほしいと思い続け、2年前に、小さいけれどたくさんの方の思いのつまった温かい図書館ができました。そして、市立中央図書館が整備され、ネットワークでつながったことがとてもうれしく思います。ただ、残念なのは、利用者が一定の人に限定されているのではということです。以前視察に行った図書館の司書が「リクエストされた本について“ありません”と答えたことはありません」と話されたことが印象に残っていますが、本当にこの言葉のとおり、どんな要望にも気軽に対応していただけます。また、図書館って難しい本ばかりでなんとなく敷居が高いように思っている人がいるかもしれませんが、雑誌なども揃えてあり、とても楽しいところです。そういったことをどんどん発信して、合併によって図書館をたくさんの人に知っていただきたいと思います。



政基盤と市民の満足度の高い行政体制を構築していきます。
合併時に、旧町村の首長、助役、収入役、教育長(29人↓5人)や議員(140人↓44人)の人員減により、特別職の報酬は年間5.3億円の削減になり、これらの財源を行政サービスの維持・向上や新市のまちづくりの財源に充てることができました。また、本市を取りまく財政状況は厳しいものがあり、本年度は職員給与を平均4.2%カットし、人件費4.2億円の削減を行っています。

行革度 ランキング

全国718の市区中75位

「全国市区の行政革新度調査」2004年度調査

平成14年度以降、行政評価システム、財務会計システム、文書管理システムの導入をはじめ、市政提案制度の実施、ISO 9001の認証取得など、行財政運営の適正化・効率化を図る取り組みを進めました。その結果、日本経済新聞社と日経産業消費研究所が隔年で実施している、「全国市区の行政革新度調査」2004年度調査では、全国の718市区中、本市は75位と、上位に位置付けられています。特に、「市民参加度」は18位で、9段階評価の第2段階のAA評価と高く評価されています。

また、東洋経済新報社の2005年版「都市データパック」での住みよさランキングでは、全市区中85位、北九州都市協会が全国主要都市54市を対象にした住みよさランキングでは7位にランキングされました。

問い合わせ先

市役所本庁舎行財政改革推進課

☎(0857) 20-3164

計画的な職員の削減と 各種補助金の見直し

来年度の指定管理者制度の本格導入、外郭団体の再編見直しなどを推進し、少ない費用で大きな効果を出せるよう、行政サービスの向上に取り組みます。
今後は、自主財源の確保はもとより、定員適正化計画を早期に策定し、計画的な職員の削減に努めます。

補助金の整理合理化方針に基づき、各種補助金の見直しを図り、補助金および団体等支援の原点に戻って、各種団体などの自主・自立的な取り組みを促進していくこととしています。
現時点で残高がゼロとなっている減債基金と財政調整基金については、平成20年度末における合計残高の目標を10億円とし、災害などの突発的な財政需要に対応できるよう、財政構造の転換を図っていきます。